

# 【普通作物】の【台風】対策について

## <6月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

### 【早期水稻】（幼穂形成期～出穂期）

#### （1）予想される被害状況

- ① 強風による茎葉の損傷や靱擦れが発生する。
- ② 浸・冠水や土砂の流入が発生する。
- ③ 沿海部での潮風害が発生する。

#### （2）事前対策

- ① 倒伏や脱水症状の軽減のため、深水管理とする。  
※但し、棚田等で畦畔崩壊の恐れのあるほ場は行わない。
- ② 浸・冠水しやすい水田では、溝切りや排水溝の整備を行う。

#### （3）事後対策

- ① 台風通過後も、吹き返しの高温乾燥風で生育障害が発生する場合がありますので、風が止むまで湛水状態を保つ。
- ② 浸・冠水したところでは、速やかに排水して新しい用水と入れ替える。
- ③ いもち病や白葉枯病、ウンカ類の発生に注意し適宜防除する。
- ④ ほ場に飛散したゴミは、作業や機械に支障を及ぼすので早めに除去する。
- ⑤ 潮風を受けた場合は、直ちに真水を散水し新しい用水を入れる。

### 【普通期水稻】（育苗・移植期～分けつ期）

#### （1）予想される被害状況

- ① 育苗ハウスの破損や苗の損傷等が発生する。
- ② 強風による茎葉の損傷が発生する。
- ③ 浸・冠水や土砂の流入が発生する。

#### （2）事前対策

- ① 茎葉の損傷の軽減のため、深水管理とする。  
※但し、棚田等で畦畔崩壊の恐れのあるほ場は行わない。
- ② 浸・冠水しやすい水田では、溝切りや排水溝の整備を行う。

#### （3）事後対策

- ① 浸・冠水したところでは、排水して新しい用水と入れ替える。
- ② いもち病や白葉枯病、ウンカ類の発生に注意し適宜防除する。
- ③ ほ場に飛散したゴミは、作業や機械に支障を及ぼすので早めに除去する。

## 【大豆】（播種期～生育初期）

### （１）予想される被害状況

- ① 播種後の湿害等による発芽障害が発生する。
- ② 強風での茎葉の損傷や湿害での生育不良が発生する。

### （２）事前対策

- ① 浸・冠水等の湿害に備え、溝切りや排水溝の整備を行う。
- ② 中耕・培土の時期にあるほ場では、倒伏軽減のために土寄せする。

### （３）事後対策

- ① 冠水したら速やかに排水し、侵食された畦は早めに土寄せする。
- ② 欠株が生じた場合は早めに追播きする。
- ③ 倒伏した株はできるだけ起こして、土寄せする。
- ④ ハスモンヨトウ等の病害虫の発生に注意し、適宜防除する。